



Junior Drive  
Shiraishi Racing School

# NEWS

## 15歳の柱本翔夢伊が2位表彰台を獲得！

3期生の柱本翔夢伊（15）が今シーズン参戦するSuper-FJ鈴鹿・岡山シリーズの第2戦で2位表彰台を獲得しました。

柱本は前回のデビュー戦でマシントラブルによりリタイヤという悔しい結果となってしまいました。今回のレースに掛ける思いは人一倍ありました。レースウィーク初日の木曜日。柱本は走り出しから好調で好タイムを記録していました。金曜日のフリー走行でもその流れは変わらず好調さをキープ。これまで経験が浅かったニュータイヤでの走り込みもでき、自信を持ちながら土曜日に挑むことができました。

土曜日の予選はクリーンなラップを狙うべく集団から間隔を空けてコースインしていきました。途中赤旗がありましたが、再開後にアタックすることができクラス2番手（総合5番手）タイムを記録しました。柱本自身はレースウィークを通じてポールポジションを狙える速さがあったため、2番手では納得できず悔しそうな様子で予選を終えました。

そして迎えた決勝の日。季節外れの暑さで気温は30℃を超えていました。レッドシグナルが消え全車一斉にスタート。柱本は5番グリッドから好スタートを決めてターン1でアウトから新型クラスの1台をパスし総合4番手にポジションを上げます。バックストレートで抜き返されるもクラス2番手（総合5番手）のままオープンラップを終えました。柱本のペースは良く、2周目の最終コーナーで前を行く新型クラスの1台をパスし総合4番手にポジションを上げました。そしてファステストラップを記録しながら前に行く同クラスのトップの選手との差を縮めていきました。

トップ争いがこれからというタイミングでコース脇にストップ車両が発生したため、セーフティーカーが導入されました。3周後にレースが再開されましたが、後続の選手に迫られる厳しい展開となってしまいます。新型クラスの2台に交わされましたが、その直後のターン1で柱本の目の前で接触アクシデントが発生しました。柱本はギリギリ巻き込まれずこれを回避でき、レースを続けることができました。同クラス3番手の選手に並びかけられるも再びセーフティーカーが導入され、レースはこれで終了となり2位が確定しました。マシンから降りた柱本は真っ先に家族やエンジニアと喜びを分かち合い、感謝の気持ちを伝えていました。

前回の悔しいデビュー戦の悔しさを晴らした柱本がデビュー2戦目にして初めての2位表彰台を獲得しました。次戦は鈴鹿サーキットに戻り、第3戦が開催されます。柱本の目には“優勝”の文字しか見えていません。



SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド



GARAGE38  
Luca ed ombra

FTK corporation



PAINT BY  
O·N·O.inc

River inc.

